

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	マイカー規制による低炭素化促進事業	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24～28年度	担当課室	国立公園課	課長 桂川 裕樹			
会計区分	エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)	施策名	1-1 地球温暖化対策の計画的な推進による低炭素社会づくり				
根拠法令(具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する施行令第50条第8項第8号	関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立公園において実施しているマイカー規制に関連し、マイカー規制区間に低炭素型車両の導入及び駐車場等における低炭素型車両の受入体制の整備を推進することにより、国立公園の利用における低炭素化の取組の強化及びマイカー規制の一層の拡大を図る。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	マイカー規制において、乗り入れを行うバス・タクシーなどの代替交通手段に使用される車両について、より低炭素化となる車両を導入する場合の購入費を補助する。 上記により導入する車両に対応する燃料供給基地や急速充電設備、マイカー規制の乗り換え基地などにおける自家用車電気自動車への充電設備の整備費を補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算				45	90
		補正予算				0	
		繰越し等				0	
		計				45	90
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	マイカー規制区間における低炭素型車両の導入による二酸化炭素排出量の制限及びマイカー規制の拡大。 マイカー規制区間の状況、導入車両の種類、運送状況等により条件が変わるため定量的目標は設定できない。	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	低炭素化が図られた国立公園内の地域数	活動実績(当初見込み)	地域	-	-	-	-
単位当たりコスト	150万円/地域	算出根拠	1地域あたりの総事業費450万円×1/3(補助率)=150万円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	補助金	45	90				
	計	45	90				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	新成長戦略(平成22年6月閣議決定)において、運輸部門での温室効果ガスを削減するとされていること、マイカー規制は、国立公園の環境保全や付加価値向上に資すること等を踏まえ、急勾配、悪路等で条件の悪い国立公園核心部における低炭素型車両の導入を支援するものであり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者に2/3以上の負担を求めるとともに、補助額の上限を定め、受益者との負担関係を明確にしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業では、国立公園において実施しているマイカー規制に関連し、マイカー規制区間に低炭素型車両の導入及び駐車場等における低炭素型車両の受入体制の整備を推進することにより、国立公園の利用における低炭素化の取組の強化及びマイカー規制の一層の拡大を図るものであり、国立公園の自然環境の保全にも繋がることから、引き続き事業を実施すべきである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-054

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					